

現展におけるデザイン制作

石 野 眞*

Makoto ISHINO

Graphic design at the Exhibition of Modern Artist
Association

1 はじめに

昭和37年よりデザインの制作とその発表を主として、現展＝現代美術家協会展・デザイン部門において続けてきた。

三好二郎教授は、東京芸術大学教授として多忙な中を度々、本学のデザインの集中講義にお出でいただいたが、昭和61年の8月に松江市で初めての日本美術教育学会学術研究大会松江大会の講演講師として来松、三好二郎教授は、演題「美術教育における感性」の中で「デザインとは、対象に直面して沸き起こる美の下心であり、美しい企みである」と述べられた。デザインの制作は、計画造形であり、目的とテーマによって成立しているが、学術研究の場合および学校教育の場合におけるデザインの制作は、そのテーマ制をはなれて、あるいはこれを弛めて作者自らの個の表現展開に傾斜して行われることが多い。

2 現展のデザイン

現展は、毎年東京の上野公園の美術館（東京都美術館）で開催されている、日展、院展、二科展、行動展、独立展、モダンアート展等いわゆる中央展の一つである。その発足は昭和22年に遡り、昭和24年に第5回現代美術展として最初の公募展を行い本年第49回展を迎えている。

本年の第49回展は絵画・版画部門、彫刻・工芸部門、デザイン・写真部門の3部門にわたって17室を会場として、審査員であり、無鑑査出品の会員作品と審査を経た準会員・会友および初出品を含めての一般応募作品の中からの入選作品、572名の出品作家による715点を陳列した。

* 島根大学教育学部 美術教育研究室

デザイン部門は、昭和31年に第12回現代美術協会展の宣伝美術部門としてスタート、昭和39年の第20回現展よりデザイン部門として今日に至っている。

二科展がデザイン部門の一番古い歴史を持ちながら、中央展の展覧会として当時は、商業美術部門の名称を掲げていたなかで、現展＝現代美術家協会展ではいち早く、デザイン部門として発足し、日本で最初のデザイン部門を持つ中央展としてスタートしていた。

デザインの時代を迎えて、日本宣伝美術会の日宣展展がデザイナーの登竜門として盛況であった。戦前から美術展覧会の中心地であった東京の上野公園の美術館（東京都美術館）でも次々と各美術団体にデザイン部門が新設される中で、一番古いデザイン部門を持つ中央展「二科展」は未だ商業美術部門であった。当時一番早くデザイン部門を設け、デザインと色彩学に造詣の深い佐藤巨宏氏が代表をしている現代美術家協会に、大阪の山崎博氏の紹介で参加出品する事になった。デザイン部門の会員として、永く審査会をともにした山梨出身の石井精一氏の精緻な仕事には大きな感銘を受けた。島根大学の師、彫刻の小谷忠芳先生、松江高等学校教諭から京都へ出て京都府の指導主事をつとめ、美術教育と版画界で活躍した古野由男氏が既に出品を続けていて、後に縁戚となったのは不思議なことであった。

3 島根の現展デザイン

島根県の現展デザイン部門の作家は、会員に昭和37年に助手として赴任した年の島根大学教育学部美術研究室の卒業生であり、附属中学校教諭をつとめ、現在島根県立浜田教育センターの初代課長の寺尾堂氏をはじめとして、同じく附属小・中学校教諭をつとめ現在、島根県教育庁学校教育課指導主事の花谷耕三氏がいる。準会員と

して安来高等学校教諭の竹田茂氏と出雲の福代君子氏がいて受賞を重ねている。会友として山陰中央新報社のデザイナー遠藤毅氏が力作を発表している。

ここでは、以下に現展作品の制作と出品を振り返りながら、主な作品について考察する。

4 現代美術家協会展デザイン部門作品

- ・「レコードジャケット試作」 昭和37年10月
大阪市の中学校の美術教育研究会で出会い、京都大学における日本美術教育学会学術研究大会に共同研究発表したこともあって、山崎博氏の紹介で現展大阪支部展（大阪現代画廊）に出品、現代美術家協会・デザイン部会友推挙を受ける。
- ・「外国向書籍ポスター・かたち」 昭和36年6月
第19回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館中央展、本展初出品で会友努力賞を受賞、準会員推挙を受ける。

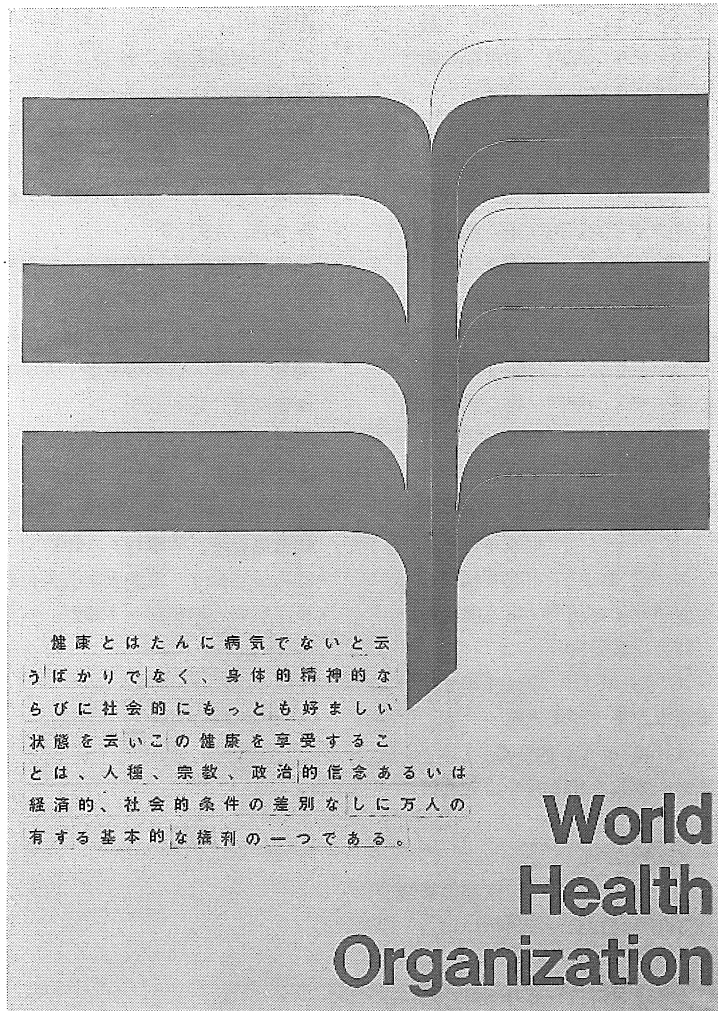
昭和35年4月より昭和37年9月までの3年、大阪市の中学校教員をしながら、デザインの勉強に励んでいて出会った、郷土米子市出身の写真家、岩宮武二氏の写真集「かたち」をテーマとして制作。作品の大きさはグラフィックデザイン作品の基本規格されていたB1判又はB全判ともいう、103×74cmで制作、以後ほとんどの作品はこの大きさと制作、連続出品し今日に至る。

- ・「レコードジャケット試作」 昭和39年6月
第20回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・現代詩のために「変身」 昭和41年6月
- ・現代詩のために「藍青」 昭和41年6月
- ・現代詩のために「蛇の唄」 昭和41年6月
第21回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「世界保健機関キャンペーン」一次頁に写真掲載
- ・第22回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
昭和41年6月
この作品で準会員賞を受賞し、会員に推挙される。以後毎年、現代美術家協会展デザイン部門審査員として現在に至る。

世界保健憲章の条文をうたったWHO・世界保健機関キャンペーンポスター。

- ・「現代音楽のために」 昭和41年11月
現展選抜展 / 銀座・村松画廊
- ・「カレンダーのために」 昭和42年6月
第23回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「現代音楽のために」 I 昭和43年6月
- ・「現代音楽のために」 II 昭和43年6月

- ・「現代音楽のために」 III 昭和43年6月
第24回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「童話のためのイラストレーション」 昭和44年6月
第25回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「作品」 昭和45年6月
現代美術家協会デザイン部会員展 / 東京・渋谷
- ・「作品70-I」 昭和45年6月
第26回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「絵本のために」
第27回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
昭和46年6月
- ・「絵本のために」 I 昭和47年6月
- ・「絵本のために」 II 昭和47年6月
第28回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「青い鳥はどこへ I」 昭和48年6月
- ・「青い鳥はどこへ II」 昭和48年6月
第29回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「イラストレーション」 昭和49年6月
第30回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「イラストレーション」 昭和50年6月
第31回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「青い鳥 I」 昭和51年6月
- ・「青い鳥 II」 昭和51年6月
第32回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「青い鳥」 昭和52年6月
第33回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「イラストレーション」 昭和53年6月
第34回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「Dus Quadrat ins Quadrat I」 昭和54年6月
- ・「Dus Quadrat ins Quadrat II」 昭和54年6月
第35回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「構成」 I 昭和55年6月
- ・「構成」 II 昭和55年6月
第36回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「コラージュ」 昭和56年6月
第37回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「スイス切手によるコラージュ」 昭和57年6月
第38回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「構成 I」 昭和58年6月
- ・「構成 II」 昭和58年6月
第39回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「造形詩スイス便り」 昭和59年6月
第40回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
- ・「スイス便り」 I 昭和59年6月
- ・「スイス便り」 II 昭和59年6月



健康とはたんに病気でないと云うばかりでなく、身体的精神的ならびに社会的にもっとも好ましい状態を云いこの健康を享受することは、人種、宗教、政治的信念あるいは経済的、社会的条件の差別なしに万人の有する基本的な権利の一つである。

**World
Health
Organization**

「世界保健機関キャンペーン」

- 第41回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
 ・造形詩「スイス」 昭和60年6月
 第42回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
 ・造形詩「スイス」 昭和61年11月
 現展選抜 100人展 / 東京セントラル美術館
 ・「スイス便りⅠ」 昭和62年6月
 ・「スイス便りⅡ」 昭和62年6月
 ・「スイス便りⅢ」 昭和62年6月
 第43回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
 フランスのアルシュ水彩紙にアクリル、デザインガッシュ、ポスターカラー、水彩絵の具、鉛筆、コンテ、イラストマーカー、ピグマペン等を使用して表現する。
 ・「スイス便り 88」 昭和63年6月
 第44回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
 ・「スイス便りⅠ」 平成元年6月
 ・「スイス便りⅡ」 平成元年6月
 第45回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
 ・「スイス便り 88」 平成2年6月
 第46回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
 ・「スイス便りⅠ」 平成3年6月
 ・「スイス便りⅡ」 平成3年6月
 第47回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
 平成3年6月
 ・「スイス切手のスペース '92 a-f」 平成4年6月
 第48回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
 東48回現代美術家協会展会員賞受賞
 ・「スイス切手のスペース '92 a-f」 平成4年8月
 現展選抜 100人展 / 東京セントラル美術館
 ・「スイス切手のスペース '92 a-f」 他2点
 山陰現展 / 米子市美術館 平成5年2月5日～9日
 ・「スイス切手のスペース '93 a-f」
 ・「スイス切手のスペース '93 a-f」
 第49回現代美術家協会展デザイン部門 / 東京都美術館
 東京都美術館 平成5年6月12日～22日
 大阪市立美術館 平成5年7月6日～11日
 愛知県立美術館 平成5年7月27日～8月1日

5 おわりに

本稿では、デザインの制作と研究を現代美術家協会展デザイン部門への出品作品をとおして観たが、今後も、現代美術家協会展デザイン部門への出品は続けて行きたい。オリジナル・ワンのデザイン作品としてこれからのデザイン作品のテーマと造形表現の言語展開をスイス切手から拡げて「切手のあるスペース」としての表現は同

じながら、題をエアメールとして、スイスを離れた世界の国々へイメージを拡げて見たい。

参考文献

- ・第40回現展画集 / 75頁、造形詩「スイス便り」昭和59年
- ・第41回現展画集 / 91頁、「スイス便の」昭和60年
- ・第42回現展画集 / 87頁、造形詩「スイス」昭和61年
- ・拙論「デザインに関する試論」島根大学教育学部紀要第5巻、1971年
- ・拙論『作品「スイス便り」制作考』島根大学教育学部紀要、第21巻、1987年
- ・拙著「デザイン・構成」第一法規、昭和57年
- ・共著「美術・造形の基礎」大学美術・造形教育研究会産業図書、昭和62年。
- ・基礎造形シリーズ「芸術・デザインの平面構成」朝倉直巳著、六耀社、1984
- ・基礎造形シリーズ「芸術・デザインの立体構成」朝倉直巳著、六耀社、1992
- ・芸術研究報9 筑波大学芸術系研究報告第11輯、1989
- ・東京芸術大学紀要・1992